

令和 8 年 7 月 2 4 日

令和 7 年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立御厨小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成 1 5 年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

☒ 計画通り実施できている

- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

☒ 実施している

- ・ 実施していない

(3) 自校における評価

- ・ 第 1 学年からの英会話学習の実施により、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっている。第 1 学年からネイティブスピーカーである EAA と接することで、児童は外国人と交流することに抵抗なくコミュニケーションを図ることができている。
- ・ 英語に触れる、聞く、話すことが 1 単位時間の中に組み込まれたアクティブな学習が第 1 学年次から体験できる。児童の興味関心が高く、英会話学習の時間を楽しみにしている児童が多く、これまでの学習を通しての成果が感じられる。
- ・ 低学年からの積み重ねにより、高学年では、外国の文化への興味関心が高まったり英語を聞くこと、話すことに意欲的に取り組んだりするなど、児童が互いに関わり合いながら学び合う様子も見受けられた。

(4) 学校関係者による評価

<児童>

- ・ ALT や EAA と積極的に挨拶をしたり話しかけたりして自然にコミュニケーションをとろうとしている姿が随所に見受けられた。英会話学習の時間を楽しみにしている児童が多く見られた。
- ・ 第 5 ・ 6 学年の英語チャレンジ DAY では、いつもの学習環境とはまたひと味違う中で、多くの ALT や EAA を相手に英語でのやりとりを楽しんだ。これまで学んだことを活用しながらコミュニケーションをとることの楽しさをより深く味わうことができた。

＜保護者＞

- ・ 英会話学習、外国語活動の様子を学年だよりや学校だよりで紹介することで、家庭での英語の学習について話をするきっかけとなっている。

3. 実施の効果及び課題

- ・ 第 1 学年から外国語に触れ、日本と異なる文化を感じ続けていることにより、外国籍の友達に対しても違いを理解し尊重しながら、学校生活を送ることができている。
- ・ 英会話学習のペアワークやグループワークを通して、児童同士が互いに学び合い、高め合っていける関係づくりや雰囲気づくりをさらに進め、他教科や日常生活にもつなげていきたい。

4. 課題の改善のための取組の方向性

- ・ 児童が外国語を意欲的に使うための目的・場面・状況を明確に設定し、学ぶことの必要性や重要性が実感できるようにするとともに、単元のゴールや毎時間のめあてなどを分かりやすく提示することで、児童に見通しをもたせ、動機付けにつなげるようにする。
- ・ 授業中は、教員が英語で説明したり、進んでコミュニケーションを図ったりするように努め、児童がより英語に慣れ親しむように取り組んでいく。また、発音を練習する場面では、ALT や EAA とのやりとり、ICT 機器の活用によって、児童の「聞く力」や「話す力」を伸ばしていく。
- ・ 指導の際には、担任は各学年の学習内容を把握し、系統性を意識して指導にあたっていく。高学年に関しては、例えばオンラインを利用して他校と交流したり、校外学習や修学旅行での班別行動の際に英会話を実践する機会を設けたりする等、学習したことを活かしてさらに実践する場を広げ、経験を積む場を設定していきたい。